



エアコン1台で過ごす、 自分サイズの家



薪ストーブに手をかける余裕はないし、大きな吹抜けも贅沢すぎる。それでも、家族で笑い合える時間が過ごせるだけで、最高の“我が家”になる。20代で家づくりを決心したI様の、等身大の家づくりを訪ねました。

コッパくんのお宅訪問

Coppa's Home Visit

No.77



安曇野市 I様ご家族/
ご夫婦とお子さんの3人住まい
竣 工/H27年6月 営業/船田亜美
敷地面積/66.27坪 IC/田下美由希
延床面積/33.56坪 施工/仁ともか



工房信州の家をご存じなかった
そうですが、決めたまっかけは？



ご主人 結婚当初から早くマイホームが欲しいという思いがあり、子どもを授かったことをきっかけに具体的に動き始めようと、まず住宅公園に行ったんです。たまたま工房信州の家の前に車を停めて、その日の最後にふらっと展示場に入ったのが工房信州との出会いでした。



奥様 その日はいくつか他のメーカーの展示場も見て、どこも「ウチの家はこんなにいいですよ」と売りを熱心に説明してくれたのですが…。私は正直、結婚したばかりの私たちに本当に建てられるのかなと不安でいっぱい、営業マンの説明は頭に入りませんでした。でも工房信州の家だけは違って、案内してくれた船田さんが冒頭に

「無理のない計画を提案しますので、大丈夫。建てられますよ」と言ってくれて。それで緊張が一気にほぐれました。その時点では不安は一切口にはしていなかったのですが、この人になら相談してもいいかも、と思えたことが一番のきっかけだったかもしれせん。



新居にどんな要望がありましたか？



奥様 一番のテーマは「休日も家に居てもいいなと思える家」。前のアパートは夏暑く冬寒く、閉鎖的な空間で、休日はすぐ外に出かけていたので。ただ、あまり具体的なイメージではなく抽象的な要望しかなかったのですが、スタッフの皆さんが意図を汲み取って具体化してくれました。完成して住み始めてから、ここまで考えてくれたんだと改めて気づくこともたくさん！



冷暖房はエアコンだけだそうですね。
お住まい心地はいかがですか？



ご主人 薪ストーブは火を扱うことにどうしても抵抗があり、ルームヒーターは灯油代がかさむし、蓄熱暖房は大きくて場所をとるし時間帯にも制限があると聞き…。**エアコンが一番気軽**だと考え、希望しました。リビングの天井に埋め込んだエアコンは18畳用ですが、**基本的にこれ一台で夏冬過ごしています。**



奥様 冬は20℃設定で十分あったか。1月の電気代は2万円でした。夏は風通しが良くエアコンは数回使う程度で、日当たりも良いので照明も点けず、8月の電気代は6000円ほど。**我が家らしい選択ができて良かった**です。



「子どもが家じゅうをぐるぐる走り回っている姿を見るのが幸せ。ゆったりとした空間は、気持ちもゆったりとさせてくれます」と奥様。



3畳の吹抜けでもこんなに明るい！一部はスノコ床で、窓の開閉に、お布団や洗濯干しに大活躍。遊び場としても面白い、お気に入りの空間。



リビングと繋がるすっきりとした和室は、お子さんの遊びにもお昼寝にも重宝。



営業
船田亜美

建物自体はシンプルながら、I様ご自身が自分らしい家へと進化させていく暮らし方がとても素敵！リラックスしてのびのび毎日を過ごしているご家族の姿が印象的です。



Focus on the Owner!!

小物好きのご夫婦のために、あちこちに飾り棚を。結婚式を象った松本市の作家・田之上尚子さんのイラストも、ブーケのドライフラワーも、この家ではずっと色あせない。お気に入りの時計の“青色”を基調に住まいもコーディネート。

